

令和7年度 児童発達支援センター育つ力 発達支援プログラム 2025/1/15 公表

法人理念 子どもの発達を最大限保障する

支援方針 3～4カ年構成の発達支援プログラムに基づいて、就学時に必要な力を万遍なく身に付ける

営業時間 平日8：30～17：30 サービス提供時間 9：00～15：00(1時間延長込)

支援内容					
支援領域	対象児	2歳児クラス	3歳児クラス	4歳児クラス	5歳児クラス
健康・生活		<ul style="list-style-type: none"> ・大人が関与する事が快適であることを理解する ・大人との教授関係を確立する ・基本的生活習慣を身に付ける 	<ul style="list-style-type: none"> ・一日の生活リズムを整え、安定して過ごす ・一日のスケジュールを把握して活動する ・集団活動での指示遂行性を伸ばす 	<ul style="list-style-type: none"> ・次の活動の見通しを持って集団参加する ・時間を意識した活動が行えるようにする ・疲労や口渇・寒暖を意識して調整する 	<ul style="list-style-type: none"> ・全体進行を意識した行動を取る事ができる ・自身の状態を把握して、無理なく生活する ・状況に合わせてペース管理、自己管理を調整する
感覚・運動		<ul style="list-style-type: none"> ・感覚の閾値を調整して、安定した感覚情報処理を行えるようにする ・基本的運動動作が安定して行えるようにする 	<ul style="list-style-type: none"> ・十分な力を入れた全身運動が行えるようにする ・手先の操作を含めた運動の調整が、一定して持続できるようにしていく 	<ul style="list-style-type: none"> ・動作の連続性や動きの流暢性を意識して行うようにする ・バランス感覚を重視した身体操作感覚と調整力を養っていく 	<ul style="list-style-type: none"> ・視覚情報と自身の身体操作・身体情報とのマッチングをできる限り一致させる ・全身を使った協調運動の習熟(一定の持続・連続も含む)
認知・行動		<ul style="list-style-type: none"> ・大人の積極的介入により事象の繋がりに一貫性を持たせる事で、物事の関係性の理解を促進する ・規則性や法則性を遵守し、予測性を伸ばす 	<ul style="list-style-type: none"> ・物事の学習に関する基本的姿勢を習得する ・活動毎の基本的手続きを習得し、応用できる基礎を習得する ・物事の因果関係や関連性の理解を促す 	<ul style="list-style-type: none"> ・物事の因果律の理解と、適応的な行動変容 ・従来の経験を活かした予測性の向上 ・ルールを理解と、それに沿った行動の強化 ・適応的な行動の理解 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己理解とそれに伴う自己調整力の強化 ・数の概念の習熟、文章からの意味理解 ・習得した知識やスキルの適用 ・視覚的構成力の熟達
言語・コミュニケーション		<ul style="list-style-type: none"> ・大人への発信が自身への「快」に繋がる事を認識していく ・要求・報告行動を強化し、物事を共有する事の良さが深化するよう働きかける 	<ul style="list-style-type: none"> ・伝達ツールとしての言語の習得と使用 ・やり取りにおける応答性の強化 ・理解の共通基盤としての言語の習熟、意味理解の拡張 	<ul style="list-style-type: none"> ・大人や他者との交渉様式の獲得 ・言語による時系列や理由の説明と理解 ・自身の情動の把握と説明・共有、及び大人との疎通による解消 	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉の階層構造・意味ネットワークの理解と習熟、その使用 ・他者の状況や感情の把握と理解、それに基づく適応的行動の実施 ・抽象的概念の構造化
人間関係・社会性		<ul style="list-style-type: none"> ・成功体験を基盤とした良好な教授関係を形成する ・大人からの関与が快適であり、自身にとって心地よい関わりである事を認識する 	<ul style="list-style-type: none"> ・大人を手がかりにして行動ができるようにしていく ・集団での一斉活動への理解と適応を伸ばす ・衝動性の軽減と、指示遂行性の強化 	<ul style="list-style-type: none"> ・指示遂行による自身へのメリットの理解 ・集団としての凝集性の向上、共有・共感する事の楽しさの理解 ・事実を基盤とした他者交流の理解と習得 	<ul style="list-style-type: none"> ・相互疎通の習熟 ・集団内での状況把握と理解、それに基づく適応的行動の判断力 ・場面や状況からの文脈の読み取りと予測性の向上、及び判断
家族支援					
<ul style="list-style-type: none"> ・学年別懇談会の実施 ・月1回の専門医相談会、随時受付の発達相談の実施 ・年2回の定期参観、個別参観の随時受付 ・毎月の活動内容報告に沿った発達支援の解説を併せて配信 					
移行支援					
<ul style="list-style-type: none"> ・在籍児/在籍歴のある児童に対し保育所等訪問支援を行い、在籍している学校園へとサポートを行います 					
地域支援・地域連携					
<ul style="list-style-type: none"> ・地域の保育園/小学校へ保育所等訪問支援を通じて、地域支援を行います ・町内の児童発達支援/放課後等デイサービスへ定期的に巡回指導を行います ・町内の支援協議会(子ども部会)へ参加し、発達支援に関する提案や実現を目指します 					
職員の質の向上					
<ul style="list-style-type: none"> ・発達臨床経験が50年以上ある専門医師による実地指導を、開所以来毎月実施しています ・週2回、発達領域を専門とする臨床経験20年以上の心理士による全体カンファレンスを開所以来実施しています 					
主な行事					
<ul style="list-style-type: none"> ・年2回の参観週間 ・卒園証書授与 					

育つ力での発達支援 理念と実施

<育つ力で大事にしていること>

- ・大人との関わりが快適であるという経験
- ・成功体験と大人との関係性を意識していく
- ・大人が一貫した関わり方をする(分かりやすい)

大人との適切な関係作り
(教授関係の基礎)

<上記経験を通じて>

- 「大人の働きかけに応じる」
- 「応じた結果、成功体験を本人が積める」
- 「結果、大人から学ぶのが楽しい」

につなげます

- ・対人関係の基礎
- ・学びの基礎

関係性/学習 良いサイクル

大人との関係が良くなると？

分かること・出来ることが楽しい
↓
もっとやりたい！！



理想的な好循環です
始めはここを目指して
進めていきます

安定した大人との関係性を基に、大切な
幼児期の学びを保障
していきます

関係性/学習 悪いサイクル

大人との関係が悪くなると？

分からない・出来ないことは
つまらない、不安
↓
やいたくなくなる！！



分からない
[不安]

やいたく
ない
[回避]

更に分から
なくなる
もっと嫌がる

絶対に避けたい悪循環
です
このサイクルに陥らない
よう、大人との関係作り
を丁寧に行っていきます

幼児期にクリアしておきたい よくある行動

< 学校を快適に過ごすためには準備が大切 >

初めての事(知らない事)に抵抗する、パニックになる

指示されたことをその場でやらない(後でやっていることも多い)

順番が待てない、話を最後まで聞かずに行動する

失敗すると取り乱す、もう一度やろうとしない

気持ちの切り替えに時間がかかる、自分一人では難しい

最後まで・習得するまで根気よく続けるのが大変

質問されても、説明がうまくできない

入学してからでは練習
が難しい事柄を、就学
前に練習していきます